

プロライティング マニュアル

こんにちは、ゆうべるです。

今回はブログ記事やメルマガを書くときのマニュアルについて解説していきます。

このマニュアルで解説することを元を書いていくことで、ぐんぐんライティングレベルが上がるのでぜひ活用してください。

このレポートは必ず印刷して、書く前に見るようしておきましょう。

①記事はどうやって 書けばいいの？

キーワードから、どんな悩みを持った人に向けた記事か？を考えて、その人の悩みを解決するような記事を作成します。

例えば「結婚式 マナー」というキーワードの場合、そのキーワードで検索する人は、「結婚式に招待されたので、恥をかかないようにしたい」といった悩みを抱えています。

なので、この悩みを解決するための記事を書く必要があります。

人がインターネットで何かを検索するのは【悩みや問題を解決したい・あることについて知りたい】と
思っているからです。

そしてその悩みは、キーワードによって異なります。

なので、キーワードを手がかりに読者の悩みを推測し、解決策を教えてくれる記事を作成してください。ここまでが「**機能的価値**」です。

そして、さらに重要なのは、ただ単に解決策を教えるだけでなく、記事内にあなた独自の視点、経験、感想などを積極的に盛り込むことです。

これを「感情的価値」といいます。感情的価値が入っていないと、そもそも記事がおもしろくならないので、せっかく役に立つ内容を書いたとしても、残念ながら読者は最後まで読んでくれません。

そうなってしまってもったいないので、自分だけのストーリーをガンガンと盛り込んで、主観たっぷりの記事を書きましょう。

②読者はどんなことで悩んでいるの？

キーワードを手がかりに、

- ・読者はどんな人か？（年齢、性別、その他の特徴）
- ・読者はどんなことで悩んでいて、どんな感情なのか？
- ・読者の悩みを解決するために伝えるべきことは何か？

を決定した上で、記事作成に移っていきます。

「読者」について調べることは本当に重要です。

「読者が知りたいこと・悩み」に沿った記事でなければ、せっかく記事を書いても、読者には読んでもらえません。

それらを知るために、まずは指定のキーワードで検索して、出て来る他のサイトの記事を読み込みます。

やり方は、

1. 指定のキーワードで検索する
2. 検索結果上位に出てきた記事を上から10記事すべて見る
3. **検索結果上位10記事に出てきた内容のうち、重要な部分（読者の悩みを解決しうる内容）は内容面で真似をして、すべて記事に盛り込む（機能的価値）。ただし表現は変える**
4. さらに、あなた自身の経験や個人的な感情を付け足す（感情的価値）

このような流れで記事を書いていきます。

検索結果上位に出てきた記事の内容をすべて盛り込むことで、他の記事を読まなくてもこれ1記事でOKという記事を作ることができます。

つまり、ライバルサイトに勝てる記事を、ライバルサイトの内容を積極的に盛り込むことで作れるのです。

ただし、個人的経験やエピソードは勝手に使ってはいけないので、自分のものを使いましょう。

また、当然ですが、そのままコピーペーストして使うことは著作権法違反です。

内容のベースは真似しつつも、表現等は自分なりにアレンジして使いましょう。

さて、次は記事の作成の形式についてです。

③記事の構成はどう すればいいの？

記事タイトル、導入文、見出し、本文、、、
の流れで作成ください。

例↓（※見出しの数は適宜調整して下さい）

記事タイトル
導入文・・・・・・・・

見出し1
本文・・・・・・・・

見出し2
本文・・・・・・・・

見出し3
本文・・・・・・・・

見出し4

本文

見出し5 (まとめ)

本文

特に導入文はユーザーがその先のテキストを読み進めるかどうかに関わってきますので非常に重要です。

この部分は、テキスト全体の内容がどんなことが書かれているのか、興味を引くような表現で概要を書いていきましょう。

④記事のタイトルは どうやって決めれば いいの？

記事のタイトルは記事を書く前に記事のテーマを書いて、そこから本文を書き終わってからタイトルを仕上げると決めやすいです！その時には、下記のルールに沿って書くようにしましょう。

(1) タイトルの文字数は32文字くらいで

→原則、32文字までですが、1~2字くらいはオーバーしてもよいので、ギリギリいっぱい使いましょう。28字~33字の間に収まればOKです。

(2) 数字と記号は半角に！

→数字（123など）と記号（!?など）は「半角英数」にしましょう。

(3) タイトルで結論を言わないように注意

→「んっ？」と気にならせるタイトルがベストです。
できる限り、結論を言ってしまうのはさけましょう。

結論を知ったら、読者はタイトルだけで読むのをやめちゃうので、せっかく頑張って書いた本文が読まれなくなってしまいます。

例:「ほんとに来る？人生でモテ期が3回と言われるのにはワケがあった」

例:「背が高い女性と背が低い女性はどっちがモテる？結果は圧倒的に・・・」

(4) タイトルに必ずキーワードを入れましょう

→キーワードを、左から16文字以内に必ず入れましょう。

この時、できるだけ順番が前後しないように注意します。

例：キーワードが「東京 デートスポット」なら、

OK例：「東京のデートスポット厳選5つ!いつ行ってもハズさない穴場を紹介!」→◎

NG例：「デートスポットなら東京のここがおすすめ!ハズさない穴場を紹介!」

→キーワードの順番が前後しているので△

(※ただし、どうしても順番通りに入れられない場合は入れ替えても大丈夫です)

(5) 下記のパターンのうち、どれか1つを真似してみましよう！

- ・ 恐怖

例: 「実は逆効果!!頑張るほど逆に太るダイエット法3つ」

- ・ 常識破壊

例: 「運動ゼロ、食事制限ゼロで痩せる!!私がたった1ヶ月で10キロ痩せた方法」 ※ダイエットするなら運動と食事制限が必要だ、という常識の逆を言っている

- ・ クイズ形式

例: 「私って依存体質??つい人に頼ってしまう性格の特徴とは?」

- ・ 数字

例: 「着回し抜群!絶対に外さない鉄板メンズアイテム5選」

・ 簡単さをアピールする

例: 「朝の5分で出来る!!簡単なミディアムヘアアレンジ」

・ ~な私が… (記事内容についての経験や実績があることをアピール)

例: 「ダイエット16キロ痩せに成功した私の1週間のダイエットレシピ」

・ 自信をもって言い切る

例: 「これを買っとけば間違いない!鉄板の滋賀土産7選」

・ ストーリーを入れる (●●をやったら、自分に変化がおきた!)

例: 「涙袋メイクするようになってから人生初のモテ期がきて感動してるww」

※慣れてきたらこのパターンを組み合わせるともっと良くなります!

例: 数字とクイズ形式を組み合わせ 「モテる人が無意識のうちにやっている、たった5つの秘訣とは?」

⑤記事の導入文はどうやって書くの？

記事の内容の要約を書くパートです。

初めに、

- ・タイトル直下に1枚目の画像を挿入します。

このとき、以下のポイントを守った画像を入れましょう。

- ・画像を見ただけで記事の内容が想像できるものを使いましょう。

(例：スケートの記事→スケート靴や、スケートをしている人の画像など)

- ・横長で！縦長はNGです
- ・画質があまりにも荒いのはNGです

※画像はフリー素材を使うのですが、最後に使えるサイトのリンク集を載せておきました。

次に、

- ・ どんな記事をこれから書くのか？
- ・ どんな悩みをもった人に読んで欲しいか？
- ・ この記事を読んだらどんな悩みが解決するのか？

を書けばOKです。

要するにこの記事を読んだらどんな悩みが解決するのか？を先に伝えておくのです。

それにより、「あ、それなら読んでみるか」という気持ちにさせることができます。

起承転結で書こうなどとよく言われますが、
結＋起承転結、という流れが実は一番良いです。

導入文で結論を言って、最後のまとめでももう一度結論を言う。

という流れです。

⑥記事の**最後**、まとめはどう書いたらいいの？

最後に、記事のまとめを書きましょう。
各見出しの内容ごとに、箇条書きにすると書きやすいです。

例：

～についてのまとめ

1. 見出し1の内容のまとめ
2. 見出し2の内容のまとめ
3. 見出し3の内容のまとめ
4. 見出し4の内容のまとめ

※「いかがでしたか？」「分かりましたか？」はNGです。なるべく使わないようにしましょう。

⑦ 上手な記事を書く ためのたった7つの ルール

(1) 主観の文章でOKです

→主観、感情、自分が思った事、意見、自分理論などなどを、自己中心的に、遠慮せず、ぶっちゃけて正直にかくと面白い記事になります。

論文や研究レポートではなく、あくまで体験談なので、客観性はいりません！！

個人の「生の」リアルな意見を書きましょう！

(2) 自分は何者なのか？を導入文にいれましょう

→自分が記事の内容について、どんな経験があるか？
を導入文に入れると、この人の記事は信頼できる！と
思われるので記事が読まれやすくなります。

読者は「あんた誰？」という状態では読んでくれない
ので、「私ってこんな人だから、この記事書いてるん
だよー」と、自己紹介を。

例：ダイエットの記事なら「10キロ痩せたことのある
私が実際に試したダイエット方法を紹介します」

例：旅行の記事なら「世界10カ国をまわってきた私
がおすすめの旅行スポットを紹介します」

(3) 本文には ○○によって私はこう変わった！！ という自分の変化のストーリーを書けると面白くなります

→ただ単に「ダイエットには鳥のささ身がおすすめで
す」という事実だけを書くよりも、実際に自分がダイ
エットして鳥のささ身を食べたら痩せた！というス
トーリーを書いたほうが、文章は100倍面白くなり
ます。

例：「必死のダイエットで私は痩せて、モテるよう
になりました。

25歳の時、約半年ほどライザップに通い、身長
155cm、体重63kg→48kgまで痩せました。

そうしたら、自然と服のチョイスにも広がりが出て、
流行りの服も着られるようになりました。

正直、世の中のおしゃれな服って痩せた人用にしか
作ってないの？！って腹が立つほど、デブのサイズを
想定してないと思いますね。

とにかく、でぶでぶだった頃は太った自分を鏡で見る
たびに、こんなぶた女モテるわけない、、、と自信
を失っていました。

けれど、鳥のささ身を食べるようにしたら、一気に体重も体脂肪率も落ちたのです。

痩せておしゃれな服を着られるようになってからは、自分って意外と可愛いな〜〜！とニヤニヤしちゃうこともあるくらい、自信がつきました。

痩せるだけで、人間の性格ってこんなにも変わるんだなと、自分でも驚きますよ。

その結果、どんどんと気になる男子に話しかけられるようになったんです。

昔はとてもじゃないけど、話すどころか、目を合わせることすらできなかったのに、信じられないですよ。

そうしたら人生初のモテ期が到来しました。 歓喜しました」

(4) 喜怒哀楽

→ストーリーを書くときに、自分の感情を積極的に表現していきましょう。

例：嬉しかった、うざかった、楽しかった、面白かった、最悪、怒った、むかついた、泣いた、悔しかった

(5) 五感

→ストーリーを書くときに、五感＝目、鼻、耳、舌、感触（どんなものを見たか、どんな臭いがしたか、どんな音が聞こえたか、どんな味がしたか、触った感触はどうか）を入れると臨場感がでて、読者があなたの体験をイメージしやすくなります。

例：「いざ告白しようとしても、緊張して心臓がバクバクして、音が相手に聞こえるんじゃないかと、めちゃくちゃドキドキしました」

「初めて彼氏の家に遊びに行ったら、卵が腐ったような悪臭で鼻がしびれました」

(6) 比喩

→芸人のように、比喩・たとえを使うと、言いたいことを的確に伝えることができます。

例：「当時の私はガラスのようなハートの持ち主だったので、とても傷つきやすかったです」

例：「私の高校の先生は、まさに仏のような先生でした」

(7) 記事構成は結論・理由・具体例の順番で書く

→人が文章を読んで理解するのは、「結論」「理由」「具体例」の順番に書いていくのが良いです。

例：「タイトル」スロットはなぜ勝てるか？

「結論」勝てる確率が高い台を打ち続けるから

「理由」それは期待値というものです

「具体例」人生にも期待値があり、人はそれを選択している。他にも期待値は日常的にこんなものにも…

⑧画像について

- ・ 画像は最低2つ、できればそれ以上（記事のタイトル下の画像は必須です。また、各見出しごとに1つずつあるとベストです）

記事の内容に関する画像を最低2つ以上挿入しましょう。

特に1枚目（タイトル下）の画像はとても重要です。1枚目の画像は必ず、ひとめみて記事の内容がわかるようなものを選びましょう。

また、画像は商用利用可能なフリー素材サイトからダウンロードして使用しましょう。商用利用可能なフリー素材サイトについては後ろのページにリンクを載せたので、そちらから利用して下さい。

画像の貼付方法：

フリー素材サイトから画像をダウンロードして、記事に挿入する。(画像のダウンロード方法は各フリー素材サイトによって異なります)

著作権について：

著作権に違反しないように、必ず商用利用可能なフリー素材を利用しましょう。

GoogleやYahoo!での画像検索や、goo画像や楽天画像、他のサイトの画像を無断で使用するのは控えましょう。著作権違反にひっかかる恐れがあります。

フリー素材サイトのうち、いくつか代表的なものをあげておきます。

フリー素材サイト：

<クレジット表記必要なし、商用利用可能なフリー素材サイト> 下記のサイト内の素材は商用利用可能で、原則自由に使って構いません。

クレジット表記（著者 名等の表示）も必要ありません。ただし、規約が変更することがあるので、必ず各サイトの規約を確認してからご利用下さい。

ぱくたそ

<http://www.pakutaso.com/>

ソザイング

<http://sozaing.com/>

足成

<http://www.ashinari.com/>

写真AC

<http://www.photo-ac.com/>

イラストAC

<http://www.ac-illust.com/> busitry-photo <http://busitry-photo.info/>

プロ・フォト

<http://pro.foto.ne.jp/free.html>

フード・フォト

<http://food.foto.ne.jp/>

モデル・フォト

<http://model.foto.ne.jp/>

街画ガイド

<http://komekami.sakura.ne.jp/>

freedigitalphotos.net <http://>

www.freedigitalphotos.net/

無料イラスト かわいいフリー素材集 | いらすとや

<http://www.irasutoya.com/>

他にも色々なサイトがあるのでご自身でも探してみてください。
下さい。

⑨チェックポイント 【最後に確認しま しょう！】

記事作成をしながら守って頂くポイントをチェックリストにまとめました。

最後にこれらのポイントを満たしているかチェックし、問題なければ記事納品をお願いします。

※最初は「全てを完璧に」というのはさすがに難しいので、少しずつできるようにしていきましょう！

これらのポイントを意識して書くという「姿勢」がなにより大切です。

タイトル

- ・記事キーワードを左端から順番に入っているか
- ・タイトルの文字数は32文字以内か
- ・!や?、数字は半角英数にしているか
- ・読者が読みたくなるポイントを盛り込んでいるか?
(恐怖、クイズ形式、数字、権威者の力、自信をもった言い切り、簡単さなど)

導入文

- ・一番初めに、記事内容を表す画像を挿入しているか
- ・記事の内容を簡単に紹介しているか
- ・どんな人が読むべきか、どんな悩みの人のための記事か
- ・季節の挨拶など関係無い内容を入れていないか
- ・フックの文章自体、長すぎにしていないか

本文

- ・会話調になっているか(口に出して読んでみて不自然になっていないか)
 - ・読者の人物像は具体的に設定できているか(リサーチした上で)
- ※性別は?年代は?職業は? キーワードに隠された悩みは何か?

・ 読者にとって分かりやすく、見やすくなっているか
※ポイントは箇条書きにする、まとめを作る、番号を
ふる等・ 読者の悩みに「共感」できているか？

※自分の体験談＝ストーリーや、感情を盛り込んでい
るか

・ 「恐怖」を煽って、続きを読みたくなるようになって
いるか

※記事を読んでいなかったらどうなるか？自分自身、
知る前はどうかだったか？

・ 記事の流れが結論、理由、具体例、になっているか？

最後

・ 本文中のポイントをまとめてあるか

画像・動画

・ 画像を無断使用していないか（フリー素材なら原則OK）

・ 動画は違法アップロードされたものではないか（個人の動画や公式動画なら原則OK）

・ 2画像以上、1動画以上を入れているか（動画はぴったりなものがなければなしでOK）

・ 1画像を記事の初めに挿入できているか

- ・ 使用した画像・動画は、記事内容に沿ったものであるか
 - ・ 動画は読者が知りたい内容に直結したものであるか
- 以上

※お疲れ様でした！

なにか疑問があればすぐにご連絡くださいね。